

中崎 コレカラ NEWS

発行：一般財団法人明石コミュニティ創造協会

子どもたちを地域で
育むための意見交換会
が行われました！

2回目

開催情報
(関連企画) 意見交換会
日程：平成25年9月11日
会場：播陽幼稚園

当日のプログラム

開会

1. 前回の振り返り
各子ども会の現状について
(情報提供)
2. 地域に住んでいて
日ごろ感じていること
(意見交換)

閉会

中崎コレカラ NEWS に
関するお問い合わせは
明石コミュニティ創造協会
TEL:078-918-5248
柴田・魚谷まで



校区一体で取組みを

・若手意見交換会・みんなが関わりやすい組織が必要

9月11日、播陽幼稚園にて、校区内に住む子育て世代の人を中心に26人が集まり意見交換を行いました。昨年から開催しているまちづくり意見交換会の中で「地域の若い世代の人も声を出せる場が必要」ということで企画され、今回で2回目になります。

校区行事で盛り上げ

「以前は校区単位の行事があつて、地域の一体感が感じられた。校区みんなで楽しめるドッジボール大会や盆踊りの復活ができれば」と出席者。

「町」この祭りは担い手が減って実施困難なところも。各町の祭りは外部から入り

にくい。校区単位の祭りであれば解消される」と校区全体で盛り上がる行事の開催を望む声が挙がりました。

子ども会の現状とこれから

「現状の子ども会の活動は個別の自治会事情により差がある」といった意見から「校区一体のまちづくり組織をつくって、テーマごとに部会(子ども部会等)を設置するのはどうか」「現在進んでいる子どもの居場所づくりも活動の一つに位置付けられたらいい」などの考えが出されました。

子どもを地域で育んでいくためにも校区まちづくり組織設立への期待感が示されたのではないのでしょうか。



まちづくり組織の必要性を確認

「組織ありきではなく、いろんな人が意見を出し合いながら、つくっていくことが大事。子育て世代の人も校区一体の取組みが必要と感じている」とこれまでの意見交換会とこの場が同じ方向性であることが確認されました。

校区まちづくり組織ができることで、町同士の「横のつながり」と世代間の「縦のつながり」が生まれることが望まれます。

「校区のまちづくり」というと大層過ぎて関わりにくい。具体的な内容なら手伝ったり参加しやすい」といった声があるように、多くの人が関わりやすい組織をつくる必要です。子育て世代の事情も考慮しながら、強制的でなく楽しくゆるやかに参加できる仕組みが求められます。

※10月26日(土)午前10時から、場所は明石市立勤労福祉会館で、「どんな校区まちづくり組織を目指すのか」住民みんなで検討する予定です。ご案内は自治会回覧等で広報されますので、関心のある方は是非ご参加ください。